

4社を表彰

日測協九州、公共測量
品質管理優秀賞

日本測量協会（日測協）
九州支部技術センター（山
本宏章センター長は8日、
福岡市博多区のオリエンタ
ルホテル福岡博多ステーション



受賞者らが記念撮影

で第22回公共測量品質管理優秀賞の九州地区表彰式を開いた。基準点測量部門で扇精光コンサルタンツ（長崎市）と光栄測量設計（長崎県五島市）、大東エンジニアリング（沖縄県浦添市）、地図作成部門でエアロトヨタ西日本空情支社福岡支店（福岡市博多区）が優秀賞を受賞し、日測協の住田英二専務理事から記念の盾などが手渡された。

住田専務理事は「これからも確かな品質の成果を作り続けてもらえれば」と祝辞を述べた。

扇精光コンサルタンツ地理調査部次長の濱本将理氏は「検定対象外の業務でも指摘事項ゼロを目指す」、光栄測量設計測量部の山本祐樹氏は「より詳しい知識

を身に付け、さらに成長できるように一層努力していきたい」、大東エンジニアリング取締役測量部長の平良秀喜氏は「次世代のメンバーが主体となつての受賞で大変喜ばしい」と語った。

エアロトヨタ西日本空情支社福岡支店長の今村悟氏は「各社が日々品質管理レベルの向上に取り組みされている中での受賞でうれしく思つ」と話した。

同賞は公共測量成果検定で特に品質管理が優れていた作業機関を表彰するもの。今回は2025年度に受検した企業の中から全国で基準点測量部門26社、地図作成部門10社の計36社が選ばれた。

ステーションで第63回定時業務報告会を開き、2025年度の事業や収支、26年度の事業計画や収支予算、役員改選で横山支部長「写真Ⅱ」を再任したことを報告した。

開会に当たり、横山支部長は「支部の事業活動内容をしっかり伝え、皆さんの

今後の活動に大きく寄与できることを願っている」と述べた。

事業計画によると、オンラインなど支部主催講習会を25年度から1件増の年間23件行い、本部主催講習会と合わせて計34件予定している。